

2024年度事業報告書

令和6年度において、定款にある進交会の3つの目的である、①会員相互の交流促進、②母校(市大・Y校)への支援、③地域社会の発展への貢献、の実現のための諸事業を進めた。市大・Y校の卒業生がワンチームとなり、進交会の持続的発展に努めるとともに、会員から愛着のある同窓会をめざし、Y校・市大それぞれの同窓会活動の活性化を進めた。同窓生の交流を促進するため、広報等の充実や会館の利用促進等に取り組み、交流の促進を図った。

次の6つを重点目標として諸事業を進めた。

- (1)会員相互の交流をさらに進める。
- (2)母校(Y校・市大)への支援を行う。
- (3)母校、学生と連携し、地域や社会の課題解決などに貢献する。
- (4)「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、経営の安定化と発展の基盤づくりを行う。
- (5)市大・Y校それぞれの同窓会活動の活性化のため、共有する歴史をふり返りながら市大同窓会(浜大会)・Y校会との連携・支援を行う。
- (6)同窓生の連携・交流を進めるため、広報の充実と進交会館利用の促進に取り組む。

I. 2024年度の事業 (詳細については事業別の記述を参照)

1. 母校(市大・Y校)への支援の充実

- 市大、Y校の現役生への「進交会賞」授与した。
- 市大100周年事業(基金等)への支援・協力を行った。
- 部活、学園祭などへ広告協賛等による支援を行った。
- Y校現役生へ美澤皆勤賞(3年間無遅刻 無欠勤のY校生)を授与した。
- Y校軟式野球部甲子園出場に支援を行った。
- Y校ニューヨークでの学生会議参加者に支援を行った。

2. 会員相互の交流を進める。

- 同期会、卒業生ゼミ・部活会等の開催促進を行った。
- 支部活動の紹介(HP・SNSでの紹介欄の充実 他)をした。
- 母校の広報(HP、SNS等)活動との共有、連携による交流促進。
- みなと倶楽部・会議室の利用促進のための広報を行った。

3. 母校、学生と連携し、地域や社会の課題解決などに貢献する

- 地域や社会の課題解決・貢献のためのSDGsセミナー/シンポジウムを開催した。
- 課題解決・貢献の具体的活動への参加機会をHP等で紹介した。
- 清掃活動など目に見える地域貢献活動に参加した。

4. 「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、
経営の安定化と発展の基盤づくりを行った。

(1) 各委員会の運営

● 総務・財務委員会

持続可能な進交会を目指し経営安定と HD 方式の検討など行った。

● 会報・HP委員会

交流・連携促進のための会報発行・広報・HP活用と経費削減の検討、HP 活用について検討した。など行った。

● 事業委員会

みなと倶楽部の経営改善・貸会議室の活用促進の検討など行った。

☆詳しくは委員会報告にて後述

(2) 持続可能な体制・組織と経営の安定化の検討

● 経営改善策の検討し実施した。

● ホールディング形式を含め有効な組織運営体制を検討した。

● 会費の支払い方法の拡大、Pay払方式等の利用を促進した。

5. 市大・Y 校それぞれの同窓会活動の活性化のため、連携・支援を行う。

● 市大同窓会(浜大会)、Y 校同窓会(Y 校会)事業の充実と連携支援を行った。

● 浜大会 Y 校会事務局機能の充実を図った。

● 広報等での母校(市大・Y 校)との連携を充実させた。

6. 連携・交流を進めるため広報の充実と会館利用の促進に取り組む。

(1) 連携・交流を進めるための広報の充実

● 進交会報の発行

9月、住所判明会員全員を対象に発行した。

市大版・Y 校版の分冊発行し好評を得た。

● 会報の内容の充実と発行費用削減を検討して実施した。

● 進交会ホームページの充実を図った。

● 進交会館活用団体の活動内容等の紹介を行った。

(2) 進交会館の利用促進を進める。

● 2 階みなと倶楽部の広告宣伝活動を行うなど、利用促進を図った。

● 2 階みなと倶楽部 3 階会議室の紹介チラシを作成し案内した。

II. 会員の状況（2025年3月31日現在）

1. 2024年度新会員

市大（大学院卒を含む）	971名
Y校	276名
合計	1247名

2. 会員総数

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	住所登録者数
市大	38,833	19,210	19,623
Y専	796	602	194
Y校	25,297	10,633	14,664
合計	64,926	30,445	34,481

〔市大卒業生内訳〕

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	住所登録者数
商学部・国際商学部	14,592	7,240	7,352
文理学部	9,153	4,922	4,231
国際文化学部	1,034	705	329
理学部	846	394	452
国際総合科学部	5,603	2,263	3,340
データサイエンス	114	9	105
国際教養学部	324	31	293
医学部(医専・医大)	2,698	1,321	1,377
看護(高等看護含む)	3,620	2,055	1,565
大学院 他	849	270	579
合計	38,833	19,210	19,623

III. 進交会の定例事業

1. 社員総会

- (1) 開催日時 2024年5月25日(土)11時～12時
- (2) 開催場所 進交会館 3階会議室
- (3) 出席者 48名(委任状45名)〔社員総数104名〕
- (4) 議題

第1号議案 2023年度事業報告(案)承認の件

第2号議案 2023年度決算報告(案)承認の件

第3号議案 定款変更承認の件

第4号議案 2024年度・2025年度理事・監事選任の件

2. 新年懇親会開催

日時:1月25日(土)11時30分～14時 場所:ナビオス横浜 2階宴会場カナル

〇年に一度会員が一堂に会する機会である新年会を開催、大勢の参加者を得て盛大に開催できた。

〇古屋理事長の叙勲祝を冒頭に開催した。新年懇親会には名誉顧問である横浜市長も参加され直接お祝いの言葉を頂いた。

IV. 理事会、各委員会

1. 理事会

■第1回理事会 2024年4月26日

第1号議案 2023年度事業報告及び決算報告の件

第2号議案 2024年度事業計画の件

第3号議案 顧問委嘱の件

第4号議案 定款変更の件

議案すべて承認された。

■第2回理事会 2024年6月28日

第1号議案 2023年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

第2号議案 2023・2024年度各員会の委員候補者承認の件

第3号議案 未来サポート募金募集の件

第4号議案 職員夏季賞与支給の件

議案すべて承認された。

■第3回理事会 2024年11月29日

第1号議案 2024年度上半期決算承認の件

第2号議案 2025年新年懇親会開催の件

第3号議案 職員冬季賞与支給の件

議案すべて承認された。

■第4回理事会 2025年3月28日

第1号議案 2024年度収支見込の件

第2号議案 2025年度収支予算の件

第3号議案 社員総会の日程及び議題の件

議案すべて承認された。

2. 各委員会

1)総務財務委員会

1. 委員会の開催

■第1回 2024年4月22日

- (1)2024年度 事業報告及び決算報告
- (2)2024年度 事業計画及び収支予算
- (3)定款の変更について

■第2回 2024年6月26日

持続可能な進交会に向けたHD方式活用を収支改善について

- (1)寄付・会費追加募集等の具体的な方策について
- (2)進交会一般会計における、Y校、市大、共通、3会計の分割方式・組織の検討

■第3回 2024年7月22日

持続可能な進交会に向けたHD方式活用と収支改善について(継続案件)

- (1)寄付・会費追加募集等の具体的な方策について
- (2)進交会一般会計における、Y校、市大、共通、3会計の分割方式・組織の検討

■第4回 2024年10月22日

- (1)未来サポート募金の状況
- (2)名簿管理システム改善の検討(中間報告)
- (3)持続可能な進交会に向けたHD方式活用のスケジュール

■第5回 2024年11月19日

- (1)2024年度 中間決算について
- (2)未来サポート募金の状況
- (3)バリアフリー事業の状況と支払いについて

■第6回 2025年3月24日

- (1)2024年度収支見込
- (2)2025年度収支予算
- (3)社員総会の日程及び議題

2. 実施事項

- (1)2023年度の事業報告及び決算報告の作成を行った。
- (2)持続可能な進交会とするための諸方策の検討を始めた。

① 進交会の課題と検討の方向の検討

[理由] ⊕ Y校・市大は1882年設立の横浜商法学校を同じルーツとして持つことから、同窓会も合同であることを共有しているが、一方でY校同窓会、市大同窓会はその別の同窓会としてあるべきとの考えが若い世代に多い。

- ② Y校会、浜大会市大、共通の、3会計の分割方式を検討し、無理のない範囲で分けることを、2025年度から実施することとした。

○現在の組織を大事にしつつ、Y校同窓会、市大同窓浜大会としての役割が果たせるようにHD方式をの活用したホールディング形式方式の検討につきについて集中して審議検討を行った。

○進交会一般会計における、Y校会、浜大会、共通の3会計の分割方式Y校、市大、共通、3会計の分割方式を検討し、無理のない範囲で分けることを、2025年度から

実施することとした。

- ③ 進交会の厳しい財政状況の改善のため、現状の把握と改善策の検討を行い、未来サポート募金を実施した。

(3)進交会館のバリアフリー対策を検討実施した。(事業委員会との共管)

・バリアフリー対策は根本的対応には相当の工事費がかかるため、緊急対応として、会館入口へのインターホン設置、2階3階のドアの踏面の改善、2階3階のトイレへの手摺設置、を行った。

- (4)令和6年度の収支見通し及び令和7年度予算の検討を行った。

2)会報・HP委員会

1. 委員会の開催

■第1回 2024年4月30日

- (1)会報第90号の編集方針とスケジュール
- (2)2024年度事業報告と2025年度事業計画

■第2回 2024年7月2日

- (1)会報90号の編集・面割
- (2)ホームページ・現状報告・調整

■第3回 2024年8月5日

- (1)会報90号の編集・紙面づくり調整
- (2)ホームページ・現状報告・調整

■第4回 2024年8月21日

- (1)会報90号の最終稿、調整
- (2)ホームページ・現状報告・調整

■第5回 2024年8月21日

- (1)会報第90号の最終稿、調整
- (2)ホームページ・現状報告・調整

■第6回 2024年11月5日

- (1)会報第90号の評価と、次号(91号)に向けて
- (2)ホームページ・現状報告・調整

■第7回 2025年2月25日

- (1)会報91号の編集方針について
- (2)ホームページ・現状報告・調整

2. 実施事項

(1) 会報90号の発行

- ・9月に進交会報90号を発行した。
- ・会報を一人でも多くの会員に読んでもらい、母校愛を高め、同窓会(進交会)へ意識の

高揚を図るため、Y校版、横浜市大版に分冊して発行した。(87号から継続実施)

- ・進交会の事業報告など両校に共通する記事に加えて、分冊により最近の同窓生の活躍や母校の状況などについて、卒業生に対して広くかつ詳しい紹介ができた。
- ・進交会報90号[㊦]として20ページとし、4ページ増で発行した。
- ・90号を記念して、90歳を迎えた卒業生の代表の方に、Y校・市大の思い出話を寄稿していただいた。
- ・読みやすくするため、レイアウトや文字を大きさなどに工夫をした。
- ・Y校版・市大版の両方の表紙に、Y校～Y専～横浜市大までのあゆみと進交会を、わかりやすく記述、Y校・市大の同窓会がなぜ一つであるのかを伝えた。
- ・進交会の財務状況が厳しく、各事業のコスト削減が求められる中、広告収入の拡大に努力した。

(2)ホームページの充実

- ・より多くの会員に閲覧してもらえよう、トピックページを有効活用している。
- ・Y校会・浜大会の活動の詳細な掲載や、支部活動の紹介、各OBOGの集まりなども可能な限りアップロードした。

〈特徴〉

- ① 5, 6, 9, 10月はアクセス数が2千を超えているが、冬の時期(12, 1, 2月)は1.5千前後となっている。
- ② イベント、クラス会、セミナーなどイベント前後のアクセス件数が増えている
- ③ スマホでも見ることができ、モバイル利用率は全体の5～6割である
- ④ 2024年度のPV(ページビュー)は、のべ22, 591で、前年度の26, 239に比べ、約86%と減少しているが、新規閲覧者が全体の約70%で新たに關心を持って訪問する人が増えている。

3)事業委員会

1. 委員会の開催

■第1回 2024年8月6日

- (1) 委員長選任
- (2)2024年度事業計画の件
- (3)2025年『進交会新年懇親会』開催の件
- (4)みなと倶楽部近況報告
- (5)その他

■第2回 2024年12月9日

- (1) 2025年『進交会新年懇親会』開催の件
- (2) みなと倶楽部近況報告
- (3) その他

■第3回 2025年3月21日

- (1) 2025年『進交会新年懇親会』開催報告

- (2) 2025年度活動予定
- (3) 進交会館、2F みなと倶楽部、3F 会議室 近況報告

2. 新年懇親会の開催

日 時 : 2025年1月25日(土) 11:30~14:00

会 場 : ナビオス横浜

参加者 : 来賓 7名 Y校 36名 市大 36名 計 79名

3. 小野光景(Y校創設者)記念館他関連施設訪問

記念館内外の清掃、損傷等により訪問受け入れの態勢準備ができていない為延期とする。

4. みなと倶楽部運営について

① 【3月末年度別粗利益推移】

	2022年度	2023年度	2024年度
売 上	5,017,133円	6,547,156円	5,809,729円
仕 入	2,059,874円	3,052,661円	2,579,916円
粗利益	2,957,259円	3,494,495円	3,229,813円

- ② 案内チラシ 5月に作成、使用開始
- ③ 『寄せ書きノート』(Y校版・市大版)を5月より設置し記載開始
- ④ バリアフリー対応工事完了(2F3F入口にスロープ設置、トイレに手摺設置、1F入口にインタフォン設置)
- ⑤ 収支改善を図る(値上げ、予約状況に合った労働管理等)

V. 同窓会 (Y校会・浜大会)

(1) Y校会

【総会の開催】 2025年2月 進交会館3階於 開催 61名出席

【母校への積極的支援】

- ① 『Y校、台湾の姉妹校交流』
11月3日~9日実施 Y校生4名が参加、内、横浜市からの補助金がもらえない生徒2名に各5万円計10万円を支援
- ② 『Y校、台湾の姉妹校交流』
12月13日~15日実施 台湾から生徒5名、教師1名が来校しホームステイを行う。Y校も生徒5名、教師1名が対応し食事会等を催す。3万円を支援
- ③ 『バンクーバーとの姉妹校交流』
令和7年1月31日~2月6日実施 Y校生19名が参加、内、17名が補助金なしで人数が多いため学校に対し20万円を支援
- ④ 『UNIS—UN ニューヨーク研修』を支援

2025年3月15日～22日にニューヨークで開催された『UNIS—UN2025
 ニューヨーク学生会議』の出席者5名が参加、横浜市からの補助のない3名に
 各10万円計30万円を支援

- ⑤ Y校創設者で功労者である小野光景氏の功績を『漫画で知るY校のはじまり』の
 小冊子に追加掲載し、2025年3月に新1年生に配布
- ⑥ 「全国高校生読書体験記コンクール」において文部科学大臣賞を受賞したY校
 1年の生徒を表彰
- ⑦ 美澤進校長墓参会 2025年9月13日(金)久保山墓地にて墓参

【Y校会会員への親睦活動状況】

月	行 事	補 足
4月	社会見学会	『大田・品川・町巡り』 11名参加
4月 10月	Y校会だより19号、 20号発行	4月、10月に発行
5月	小野光景勉強会	講師：山田瑛氏 31名参加
6月	Y校会セミナー	腹式呼吸講座 『楽しみながら元気に長 生きできる健康法』 講師：富士松延治太夫氏 26名参 加
	麻雀大会	参加者24名
	歌舞伎鑑賞教室	6月23日(日)～24日(月) 42名参加 神奈川県青少年センター於開催
7月	部活B会情報交換会	11部活OB会が参加 横の繋がりに、縦の繋がりを加えて活性 化を期待
8月	暑気払い	進交会館みなと倶楽部於 開催 55名が参加
9月	美澤進校長墓参会	美澤家ご親族、Y校校長、役員11名 参加
	美澤進先生の生家 (岡山県)と資料館訪問	会長、事務局で訪問 生家跡と資料が展示されている総合学 習センターを視察 現地の役所と管理・運営について打ち合 わせ
	近畿Y校会の集い参加	会長、事務局が参加 懇親と交流を

		深める
	小野光景墓参会	総持寺にて開催
11月	『濱っ子寄席』鑑賞	関内ホール於開催 参加者20名
	麻雀大会	参加者20名
12月	Y校会の集い	横浜ローズホテル於開催 参加者90名
2月	Y校会総会	進交会館にて開催 61名出席

【組織の拡大・活性化】

- ① 部活OB会情報交換会を開催し、Y校会のPRと横の繋がりから縦のつながりを強化
- ② 1974年卒同期会開催時にY校会の説明とPRを行う

【2025年度事業計画】

月	行 事	補 足
5月	社会見学会	5月9日(金) 森鷗外記念館 他
6月	Y校会講座 ① 腹式呼吸と新内 ② 横浜大空襲とY校 (仮) 麻雀大会 歌舞伎鑑賞教室	6月13日(金) 6月21日(土) 鈴木晶 (前Y校教師) 6月20日(金) 6月25日(水)26日(木)
7月	部活OB会情報交換会 の開催 税務会計士懇談会の開催	開催日未定 開催日未定
8月	暑気払い	8月2日(土)
9月	美澤進校長墓参会 小野光景墓参会	9月12日(金)又は13日(土)、 16日(火)を予定 (役員のみ 対象) 9月18日(木) (全会員対象)
10月	麻雀大会 糸掛け講習会	10月24日(金) 日程未定
11月	落語鑑賞会	11月14日(金)
12月	Y校会の集い	12月6日(土)
通年	台湾、バンクーバー、ニューヨーク 海外研修支援 FACEブックの活用を推進	会員、会費増をはかる

Y校歴史資料館創設企画 推進 Y校時報のデジタル化	Y校の貴重な資料の整理と展 示し一般公開を目指す 長期保存化する。
---------------------------------	---

(2) 浜大会(横浜市立大学同窓会)

主な活動

■1. 浜大会総会2024

開催：6月29日(土) @進交会館3F会議室

- 2023年度 事業報告・決算報告の承認
- 2024年度 事業計画・予算の説明
- 横浜市大後援会会長 原口淳(1979年商)氏からの提案・呼びかけ
「グローバル人材育成を大学、浜大会と共に進めましょう！」
- 坪谷 美欧子先生(横浜市大国際教養学部・都市社会文化研究科 教授) 講話

〈交流会〉@進交会館2F「みなと倶楽部」

北陸支部の谷口肇支部長や千葉県支部の川島貞夫会長も出席、若者たちの活躍や、佐藤豊三郎ゼミの「縦に繋がろう」との途中経過報告などに耳を傾けながら賑やかな数時間を過ごした。

■2. 市大同窓生の交流促進

(1)YCU REUNION SDGsオンラインセミナー(第47~52回) ※全てアーカイブスで視聴可

4月	北原 まどかさん(2000年国総卒)公認 NPO 法人森ノオト代表	「横浜市大卒業生が NPO メディアを立ち上げ、持続可能なまちづくりに取り組む」
5月	鈴木 賀津彦さん(1979年商卒)東京新聞元記者、学習院大学や関東学院大学などで非常勤講師	「マスメディアの記者がなぜ 市民メディア活動をするのか～最近の『若者の政治的関心』を題材に考える～」
6月	シンポジウム2024	「SDGsの課題解決と創造への同窓会連携の可能性」
7月	山根 徹也さん 横浜市大 国際教養学部・都市社会文化研究 教授	「ヨーロッパにおけるユダヤ人の歴史とパレスチナ問題」
8月	伊谷野 友里愛さん Hair for Children 代表(横浜市大医学部医学科4年)	「小児がんの子どもたちに無償で幸運のウィッグを！」
9月	出光 直樹さん 横浜市大アドミッションズセンター准教授	「横浜市立大学のユニークな入試の特徴と舞台裏」

10月	加藤 英毅さん(1979年文理卒) (株)アストロスケール 代取社長	「宇宙ビジネス — 悪化する環境を改善し、儲かる事業にする」
11月	ハイブリッド形式 齊藤 毅憲 さん 横浜市立大学名誉教授	「横浜市立大学の起源」 横浜市大の起源は商学部のルーツである夜学舎から数えると 2028 年に150周年を迎える。その経緯と周辺事情。
12月	杉江 伸一郎 さん(1975 年商卒) GENKI 組織力開発 代表	「良好なコミュニケーションによる良好な人間関係づくりの大切さ」
1月	池田 麻美 さん(2014 年 国総卒) 都市デザイナー&ビジネスディベロッパー	デンマークと繋いで 「横浜からデンマークへ 社会人の挑戦: 都市デザインに憧れて」
2月	宮崎 智之(横浜市大教授) (JST 共創の場形成支援プログラム プロジェクトリーダー、医学部生理学 麻酔科学、学長補佐)	「心の不調を抱える若者の背景とその改善に向けた新しいヘルスケアアプローチ」
3月	西本 敬一 さん(1988年商) 日本国際博覧会 事務総長補佐 経営企画室 上席審議役	「大阪・関西万博の魅力と楽しみ方」

(2)YCU REUNION SDGs シンポ2024 6月2日@YCU みなとみらいサテライトキャンパス

「SDGs の課題解決と創造への同窓会連携の可能性～“繋がりソフトインフラ”として、課題解決・産学連携・人材育成に貢献」 ◎横浜国大や一橋大学の同窓会からも参加いただいた。

(3)お楽しみ企画

- ・ BBQ (5月26日)
- ・ 残暑払い (9月21日)
- ・ 新年会(1月10日)
- ・ 桜クルーズ(3月31日) など

(4)浜大会大交流会2024

◎11月3日(日・祝)15:00～17:00 @横浜市立大学 八景キャンパス シーガルセンター 1階

◎来賓: 近野理事長、石川学長、松井事務局長他、多くの大学関係者の方々に参加いただいた。

◎会員総勢 100 名を超える参加者。1958～2024 年卒業と、約 66 年間にわたる幅広い世代の「市大卒業生」が一堂に会する貴重な機会となった。卒業 10 年未満の方々も 10 名近くご参加。若い世代を交えた新しい繋がりが生まれていた。

〈お楽しみ企画〉シンガーソングライター・佐藤嘉風 (商 2003 卒)、講談師・田辺一邑 (文理 1984 卒) 起業家・高瀬雅弘 (国総 2017 卒)、(敬称略)

その他、現・卒業生 5 名が自己 PR をしたり、市大混声合唱団、チアリーディング・シーガルズと

共に校歌を斉唱しました。

(5) 進交会館や横浜市大八景キャンパスを利用した卒業生交流の一部

- 柴田ゼミ 9月28日(土) ○サボテン会(佐藤豊三郎ゼミ)9月28日(土)
- 宇南山ゼミ10月12日(土) ○バスケット部総会・懇親会@シーガル1F 3月8日(土)
- 男子バレー部OB会 9月7日(土) ○国際関係課程卒業生「校友会」11月30日(土)
- 混声合唱団総会・懇親会11月30日(土) ○ヨット部OBOG会総会・懇親会12月21日(土)

■3. 大学・学生との連携・支援

- SNSの共有
- セミナー講師(大学関係者・学生)
- 大学支援 10月25日 伊藤雅俊謝恩育英財団 「感謝の集い」参加
- 研究室支援 3月5日 上村研究室主催 ノーベル平和賞受賞者受賞者ムラトフ氏の「国際平和講演会」への協力支援
- 100周年企画など連携・協力
 - ・11月3日 ホームカミングデー 100周年記念(歴史を知る講演会共催)参加
 - ・11月16日@横浜市大医学部 100周年記念(歴史を知る講演会)参加
- 100周年アーカイブス資料提供
- 卒業間もない起業家支援 Ex. 起業した卒業生支援:プレジャーボートに乗って支援活動!
- 学生部活支援 ダンス部、シーガルス、硬式野球部、YDC、ヨット部など複数団体への支援

■4. 地域・SDGsへの貢献—地域との連携—

- 環境問題に取り組むSera Creationsとの連携・協力(トータコンサート協力)
 - 8/11 Jacob Koller×猛禽類医学研究所トーク「~絶滅の危機に瀕した猛禽類と共生するために~」
 - 11/15 収益の一部を森林保全団体に寄付するチャリティコンサート ピアノとチェンバロ・篠笛の夕べ
- プラスチックごみを減らす活動「海をつくる会」との連携・協力(毎月の野島海浜の清掃活動開始5年目)
- 子ども大学よこはまとの連携・協力 授業参加、講師を紹介
- アジアの女性と子どもネットワーク 子どもの性被害に対する法律強化の申請書 署名協力

■5. 広報

- 「進交会報90号(横浜市大版)」編集・発行とのメディア連携
- SNSを活用した活動予告・報告 グループ参加者約1500人
- ホームページ:セミナー/シンポ2024などの予告、報告、アーカイブス掲載、OB/OG会の集まり記録報告 など
- メールマガジン:毎月発行 約1300人 浜大会の活動報告と予告、お知らせなど

■6. 他大学同窓会連携

横国大・富丘会、横浜市大・浜大会、一橋大・如水会、神奈川大・宮陵会、関東学院大・燦葉会、東京科学大・蔵前会 との連携交流事業

●7月31日（水）6大学同窓会連携活動のための打ち合わせ

—(横国・富丘会、横浜市大・浜大会、一橋・如水会、神大・宮陵会、関東学院・燦葉会、東京科学・蔵前会)—

●12月8日（日）6大学同窓交流会

「YOKOHAMA 6 (ヨコハマ シックス)」と名付けて広報活動や産官学の連携事業などでの他大学との交流がスタート

■7. 2025年度事業計画

(1) 浜大会会員相互の交流促進事業

- ・ YCU REUNION SDGs オンラインセミナー（毎月）
- ・ YCU REUNION SDGs シンポジウム（5月31日）
- ・ 浜大会大交流会（11月1日）
- ・ 金沢八景キャンパスツアー（5月22日）
- ・ 大岡川の桜クルーズ（3月）

(2) 大学・学生への協力・支援

〈大学との連携・支援〉

- ・ 大学卒業生担当者との日常的な協力・連携
- ・ 大学企画財務課との情報共有&ディスカッション（年に3～4回）
- ・ 浜大祭において「ホームカミングデー」に連携協力
- ・ 100周年誌や、100周年記念事業への協力

〈学生との連携・支援〉

- ・ 進交会館を利用する学生団体との交流
- ・ 学生セミナー講師との連携・協力
- ・ 卒業間もない起業家の支援
- ・ 浜大祭実行委員会への支援、連携・協力

(3) 地域・SDGs への貢献—地域で活躍する団体との連携—

- ・ 各協力団体との連携・協力を継続していく
- ・ 6大学同窓会連携活動を進める

(4) 広報

- ・ SNS を利用した広報
- ・ 新たなチャレンジによって魅力的な広報の強化をはかり、交流・連携を進めるツールとする

VI. 母校関係

1. Y校・市大 行事

(1)Y校

①入学式

2024年4月10日 古屋理事長、田宮副理事長 来賓参加

②卒業式

2025年3月 3日 古屋理事長、田宮副理事長 来賓参加

(2)市大

①入学式

2024年4月5日 古屋理事長、金子副理事長、他 来賓参加

②卒業式

2025年3月25日 古屋理事長、桑原常務理事、他 来賓参加

③「第73回医学のために献体された方々への感謝の集い」

2024年11月9日 古屋理事長、来賓参加

2. 表彰・支援

(1)表 彰

- ・ Y校「進交会賞」 7名（クラスの成績優秀者）
「美澤皆勤賞」 28名（3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与）
- ・ 市大「進交会賞」 6名（各学部部学科1名）

(2)広告掲載

・ 市大

管弦楽団定期演奏会チラシ 混声合唱団定期演奏会チラシ

キャンパスガイドブックの表紙裏 [浜大祭やメディカルフェスタ当日資料](#)

(3)母校への支援

- ・ Y校:寄付金 21万円
- ・ 市大:寄付金 [7374万円](#)、

VII. 支部活動関係

1.各支部とも広報などに工夫して活動を続け、一部の支部では総会・交流会が開催された。

2.進交会報第90号(横浜市大版)の支部だよりにおいて活動状況を紹介した。

3.支部の総会開催

名古屋支部、北陸支部、千葉支部、近畿進交会、北海道支部、群馬支部
において、総会が開催された。

○名古屋支部

日 時：2024年6月22日(土)1 場 所：リガリド大須

参 加：大学から近野理事長、富山係長に参加頂いた。

進交会から金子副理事長が参加し、最近の活動状況等を説明した。

○北陸支部

日 時：2024年11月9日(土) 場 所：ガーデンホテル金沢

参 加：大学から松井事務局長と滝澤部長に参加頂いた。

進交会から丸山理事が参加し、最近の活動状況等を説明した。

○千葉支部

日 時：2024年11月9日(土) 場 所：ポートプラザ千葉

参 加：大学から吉田係長に参加頂いた。

進交会から、金子副理事長が参加し、最近の活動状況等を説明した。

○近畿進交会

日 時：2024年11月17日(日) 場 所：大阪キャッスルホテル

参 加：大学から近野理事長と富山係長に参加頂いた。

横浜市大名誉教授の齊藤毅憲先生が、記念講演を行った。

○北海道支部

日 時：2024年11月30日(土) 場 所：札幌ガーデンパレス

参 加：大学から浦山企画財務課長に参加頂いた。

進交会から、参加せず祝電にてお祝いを伝えた。

○群馬支部

日 時：2025年2月16日(日) 場 所：ホテルサンダーソン

参 加：大学から卒業生担当の田島氏に参加頂いた。

進交会から、金子副理事長が参加し、最近の活動状況等を説明した。